

チェックシートの解説

「ステップ1 おうちの人とチェック（☑）してみよう！」について

この項目では、自宅の防災対策がどの程度できているかを確認します。特に、チェックがついていない項目の解説を読んで、必要な対策を行いましょう。

ア 阪神淡路大震災時、**死因の約8割が家屋の倒壊や家具などの転倒による圧死や窒息死でした。**災害時にできるだけ体を守るために、家具が転倒しないよう工夫をしましょう。

イ 地震の揺れにより**固定されていないものは落下します。**落下物によるけがを防止しましょう。

ウ 災害に備え、情報を収集しましょう。気象庁ホームページ等も参考としてください。

エ 火災予防のため自身の安全が確保できたら**ガスの元栓やブレーカーを落として避難**しましょう。

オ 本市は、町内会や自治会、自主防災会等の要望を受け、街角消火器を設置しています。**ぜひ、地域の町内会や自治会、自主防災会が実施する防災訓練等に参加し、使い方を身につけましょう。**

カ **家の近所の避難場所を確認しておきましょう。**洪水時に浸水想定区域（河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域）内の避難場所は使用できない等、災害種別についても確認しましょう。

また、携帯電話や固定電話が使用できないことを想定し、3ページの二次元コードから**災害用伝言ダイヤル171等の連絡手段を確認しておきましょう。**

キ 地震、噴火などの災害の発生により、**被災地への通知が増加し、繋がりにくくなった場合に提供が開始される声の伝言板です。**使用方法是3ページの二次元コードから確認しましょう。

ク **地震時は物流が滞る**ことが想定されます。住家に被害が少ない場合、自宅で避難生活を送ることができます。**【最低3日間、推奨1週間】の食料・飲料水・生活必需品などを備蓄しておきましょう。**

「ステップ2 学校の行き帰りに、大きな地震が起きたら、どうしよう？正しいものを全て選ぼう！」について

→全て正しい

地震が発生した時は、「地震だ！身を守れ！」と周囲に伝え、身体の安全を確保します。**特に頭部を守ることが、命を守る大切な行動です。**揺れが収まったら落ち着いて行動しましょう。物が散乱し、移動が困難になる恐れがあるほか、耐震化されている建物は倒壊しなかったとしても、物の落下や家具等の転倒、火災の発生といった懸念があります。**移動するときは周囲をよく確認しましょう。**



「ステップ3 外にいるときに大雨が降ってきた。正しいものを全て選ぼう！」について

→全て正しい

ゲリラ豪雨では雷を伴うことがあります。雷は高い所に落ちる傾向が強く、高い所の近くにいると、伝ってきた雷が人に落ちることがあります。壁や木から離れ、建物や車の中に避難しましょう。

また、水かさかひざ丈を超える場合、水流に足を取られ移動が困難になります。突然の豪雨などでその場からの避難が難しくなった場合、近隣の高い場所（学校や公共施設、団地の階段室など）へ避難してください。

「チェック1 学校から家までの通学路や普段使う道で、危険な場所があるか、確認しよう！」について

危険な場所	ポイント
ブロック塀のくずれ	地震により倒れたブロック塀の下敷きとなり命を落とす事案が発生しています。地震時には、可能な限り離れましょう。
がけくずれ	埼玉県的基础調査の結果、市内16か所について、土砂災害警戒区域の指定を受けています。「新座市洪水・土砂災害ハザードマップ」で確認しておきましょう。
川の近く	「新座市洪水・土砂災害ハザードマップ」で確認しておきましょう。
雨が降るとたくさん水がたまる場所	道路冠水によって、道路の側溝やマンホールのふたが外れている場合があります。落下して怪我をする危険性があるので、「新座市内水ハザードマップ」で確認しておきましょう。

「チェック2 避難情報を知っていますか？」について

市が発令する警戒レベル3以上の情報が避難情報です。防災行政無線や緊急速報メール、市公式LINEなどで、対象地域、避難場所などの情報とともに避難を呼びかけます。対象地域では、警戒レベル4までに全員が避難してください。レベル5は避難場所への移動が困難で、

命の危険がある状況です。できる限り安全を確保してください。

市公式LINE⇒



「ワーク1 家族で話し合ってみよう！」について

災害時に家族が慌てず行動できるよう一人ひとりの役割や非常持ち出し品の準備とチェック、連絡先及び連絡方法、避難場所及び避難場所へのルートなど、御家庭で話し合っておいてください。非常用持ち出し品については、飲料水・食料等のほか、必要な物資は家族構成によって異なりますので、各家庭において、必要な物資を考えてみましょう。例えば、乳児がいる家庭では、粉ミルク、哺乳瓶（消毒を含む）、おしりふき及び紙オムツなどが必要となります。

新座市ホームページ
「非常用持ち出し品の準備のポイント」



【参考】 新座市が配布している防災パンフレット等

新座市洪水・土砂災害ハザードマップ	
川が氾濫した時の浸水の状況や土砂災害警戒区域を示したものです。御自宅周辺のリスクを事前に確認しておきましょう。	
新座市内水ハザードマップ	
ゲリラ豪雨などの水路や下水道の排水能力を上回る大雨が降った場合に、浸水が広がる区域を示したものです。御自宅周辺のリスクを事前に確認しておきましょう。	
緊急時（災害時）の情報取得について	
水位情報の確認方法などを掲載しています。	
災害用伝言ダイヤル	
災害時に電話がつながりづらい状況になった際に、家族に安否状況が伝達できるものです。以下の日程で、171伝言板を体験利用できますので、操作方法などを確認しておきましょう。 体験利用：毎月1日、15日、防災週間（8/30午前9時～9/5午後5時）正月三が日等	

